

# 評価の計画の例（高等学校国語科）

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価資料 1	ノート (記述の点検/確認)	話し合い/発表 (行動の観察/分析)	振り返りシート (記述の確認)
評価資料 2	ペーパー(単元)テスト (記述の分析)	ペーパー(単元)テスト (記述の分析)	アンケート (記述の確認)
評価資料 3	ワークシート (記述の点検)	ワークシート/レポート (記述の分析)	<p>* 「知識・技能」や「思考・判断・表現」などと一体的に評価する</p> <p>(評価方法は、一例)</p>
評価資料 4	ペーパーテスト [定期考査]	ペーパーテスト [定期考査]	

## 評価の実際の例 高等学校国語科「知識・技能」

「現代の国語」〔知識及び技能〕(2)情報の扱い方に関する事項 エ

単元の目標:情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使うことができる。



評価基準:情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使っている。



評価規準に基づいて、生徒の「『おおむね満足できる』状況(B)」の姿及び評価の方法を設定する。

生徒の姿:根拠としての情報の妥当性や信頼性を確認する適切な方法について具体的に記述している姿。

評価の方法:【記述の確認】(ノート)

疑問のある情報に対する吟味の仕方を具体的に記述していることが、ノートの確認により分かる。従って上記(2)エの「知識・技能」をBと判断する。

【生徒Wの記述の一部】

○気付いたこと:資料1では専門家の体験談が中心に書かれていた。専門家だから信じたいけれど、この人の場合に限られるかも知れない。だから、本当にそうなのか分からない。

○吟味の仕方:同じテーマを取り上げた別の資料やデータで確認する。

# 評価の実際の例 高等学校国語科「思考・判断・表現」

「現代の国語」〔思考力,判断力,表現力等〕C読むことア

単元の目標:文章の種類を踏まえて,内容や構成,論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え,要旨や要点を把握することができる。



評価基準:「読むこと」において,文章の種類を踏まえて,内容や構成,論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え,要旨や要点を把握している。



評価規準に基づいて、生徒の「『おおむね満足できる』状況(B)」の姿及び評価の方法を設定する。

生徒の姿:論理的な文章について,内容や構成,論理の展開などについての的確に捉えて要約している姿。

評価の方法:【記述の点検】(ワークシート,ノート)

【生徒Xのワークシートの記述】

論理的な文章Ⅲ 主張	「民間企業の技術の活用は宇宙関連産業の発展につながる」 主張を支える内容	① 今回の成功は、民間の協力も得て成し遂げられたものであり、今後の宇宙開発にも役立てることができる。	② 国際的な競争も激しい中、政府の宇宙開発予算だけでは莫大な開発費用を賄いきれない。	③ 民間企業でも小型の□□衛星の量産や宇宙事業プロジェクトが進められている。
文章の組立て	記入例 ①→②→③→主張	①→②→③→主張		
構成や論理の展開の特徴	宇宙探査機○○の偉業の意義を發展させていく重要性とそれにかかる予算が莫大なことから、国際競争の中で民間企業の技術を活用することを、具体的な事例を示しながら提案している。			

【生徒Xの要約文】

今回成功した宇宙探査機○○の技術は、民間企業も協力して高められたものだ。宇宙開発を巡っては、世界各国が激しく競争している。この成功をもとに、日本が基盤技術を押さえられれば、国際的な△△プロジェクトなどを有利に進められる可能性がある。そのために、民間から大胆な探査計画を募るのも一案だ。なぜなら全てを国の予算で賄うには莫大な資金が必要だからだ。民間では宇宙産業への研究開発が進んでいる。これらの積極的な活用は今後の宇宙関連産業の発展につながる。

ワークシートの構成・展開の欄の記述内容、要約文の記述内容が、求める内容を満たしていることが点検される。  
従って上記Cアの「思考・判断・表現」をBと判断する。

# 評価の実際の例 高等学校国語科「主体的に学習に取り組む態度」

## 「現代の国語」〔学びに向かう力, 人間性等〕

**単元の目標:**言葉がもつ価値への認識を深めるとともに, 生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ, 我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち, 言葉を通して他者や社会に関わろうとする。

【生徒Zの振り返りシートの記述】

	今日の授業の振り返り	次の時間の目標
第1次	第1時 主張と論拠とはどういうものか, 分かっているつもりでも, 文章の中で探するのは難しかった。	文章をよく読んで, 内容を理解し, 主張と論拠を具体的に抜き出し, その関係を考えることで文章の構成を理解して要約をする。
第2次	第2時 主張と論拠を中心に, 文章中の文同士の関係を考えながら, 構成がなんとなく分かった。200字程度にするのが難しかった。	他の人の要約を読み, 話し合う時, 文章の構成の捉え方, 文章のまとめ方について意見交換をして, 自分の理解を深める。
第3次	第3時 他の人の要約を読むことで, 自分では気が付かなかった言葉を, 論拠として考えていたり, 文章中の言葉を上手く言い換えていたりして, 勉強になった。	
	全体の振り返り 主張や論拠, 文章構成, 論理の展開など, それがどのようなものかを理解しているも, 文章の中で抜き出すのは, 文章の内容を理解していないとできないので, 難しかった。そして要約は, 主張の説得力をもたせたまま文章を短くするので, 書かれている内容から必要なものを選び出すことが難しく, 文章構成を理解して文章を読むことの重要性がよく分かった。一度読むだけで内容を理解した気にならず, 文章構成や論理の展開を理解できるまで, じっくりと読むことで, 要約が上手くできるようになったと思う。同じテーマの文章を三つ読み, それぞれについて文章構成や論理の展開を考えたが, 書き手によってそれぞれ工夫されていて, 説得力の優劣はつけにくい, 自分にとって読み易いもの, 読み難いものという感じがあった。	

**評価基準:**論理的な文章の要約を通して, 主張と論拠との関係について理解し, 内容や構成, 論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え要旨を把握することに向けて粘り強い取組を行う中で, 自らの学習を調整しようとしている。

評価規準に基づいて, 生徒の「『おおむね満足できる』状況(B)」の姿及び評価の方法を設定する。

**生徒の姿:**論理的な文章について, その内容や構成, 論理の展開などを叙述に絶えず着目しながら捉え, より良い要約になるよう取り組んでいる姿。

**評価の方法:**【記述の分析】(振り返りシート)

複数次にわたって記述してきた振り返りシートの記述内容から, 目的に向かって取り組んできたことが分析される。従って上記Cアの「思考・判断・表現」をBと判断する。